

出版ネッツ関西支部 第17回支部総会議案書

はじめに

今年度も新型コロナウイルスは新しい変異株が生まれるなど収束が見えず、新年会、花見、レクリエーションなど出版ネッツ関西支部としての催しや勉強会のほとんどは中止したりオンラインに切り替えたりしたため、全体として活動は制限されたものになりました。コロナ禍の状況を見ながら、対面でのリアルな開催と、遠距離同士の交流がしやすいなどオンラインの良さを生かした活動を模索する1年でした。

そんな中、2021年9月にオンラインで「イラストレーター大集合！」を開催したところ、18名の参加者があり、情報の共有、交流の場としてよい機会となりました。また、ハラスメント対策では2021年7月と2022年3月の2回、学習会を開催しました。前から準備を進めていた協同受注事業〈コラボネッツ〉が正式にスタートし、小規模ですが最初の仕事を受注することができました。

関西支部の組合員数は、ここ数年、微減傾向にあります。新規加入者を増やす機会である新年会などの各種イベントが開催できない中で、最近、ネッツやフリーランスがマスコミで取り上げられる機会が増えたこともあり、新規加入者が4名ありました。一方で、経済的理由から脱退する人もあり、年度末としては微減となりました。

出版ネッツは出版フリーランスの唯一のユニオンとして仕事起こしやトラブル解決などに取り組んできましたが、出版ネッツ関西支部としても、支えあう仲間づくり、様々な情報交換、スキルアップなどにいっそう努め、不払いなどのトラブル相談についても解決に向けて対応していきます。

2022年度の出版ネッツ関西支部の活動を以下のように総括します。

関西支部所属組合員（2021年6月1日～2022年5月31日）

・加入者数4人 ・脱退者数7人（組合費未納による除籍含む） 2022年5月31日現在 62人

【2022年度 活動報告】

1 支部委員会

支部委員は支部長、事務局長を含めて11名おり、原則として月1回、第1木曜日に開催していますが、2020年5月よりオンライン開催となっています。オンラインのため、関西以外に在住の方にも支部委員を引き受けていただきやすくなりました。しかし、支部委員の固定化が進み、高齢者も多くなったため、全体としての若返りを課題としています。

2 ネット関西X（エックス）カフェ

ネット関西X（エックス）カフェは、少人数で気軽に組合員同士が直接顔を合わせ、活発な交流ができるよという趣旨で、2016年1月からスタートしました。現在、インデザイン勉強会、ことば+αの会、編集者カフェの3つがあります。関西支部として広報に協力したり、会場費を補助するなど組合員の自主活動を応援しています。いずれも組合員以外の方も有料で参加できるようにしており、ネッツの宣伝や新組合員勧誘の機会にもなっています。新型コロナの影響で今年度はほとんど活動ができませんでしたが、2021年12月11日に、編集者カフェをリアル+オンラインで開催しました。

A インデザイン勉強会

2022年度はオンラインセミナーとして再開予定でしたが、実現できませんでした。活動がひとりに依存している現状を改善する必要があります。

B ことば+αの会

ことば+αの会は、校正のほか、組版、編集、Web、原稿執筆、最近の日本語についてなど、「ことば」に関するさまざまなことをテーマに取り上げ、原則2か月に1度、例会を開催しています。2022年度は、例会を開催することができませんでしたが、いろいろと模索を続けています。

C 編集者カフェ

2022年度は、読書会を2021年12月11日(土)に京都市の重山文庫にて、リアルとオンラインのハイブリッドで開催しました(参加者7名)。「気になる本・出版関係の本」をテーマとして、斎藤幸平『人新世の「資本論」』、内田樹『街場の文体論』の2冊を取り上げ、自由に感想を述べ合うスタイルとしました。今年度の活動はこの1回でしたが、次年度の開催にむけて、内容や開催方法などを検討しています。

3 仕事起こし

仕事起こしの関連では、2021年9月22日に、オンラインで「イラストレーター大集合!」を開催しました。ネット関西支部のイラストレーターを中心として、フリーランス共通の関心事である仕事環境や方向性、作業時間、営業方法、インターネット集客などについて体験を語り、意見を交わしました。参加者は18名で、ネット関東支部や元ネットの方にもたくさん参加していただき、情報の共有、交流の場としてもよい機会となりました。今後も随時開催していきます。

4 協同受注事業〈コラボネット〉

今期から関西支部として協同受注事業〈コラボネット〉をスタートさせました。これは、関西支部のメンバーで参加希望者に登録していただき、仕事を受注したら、複数の登録者が協同して取り組むというものです。現在、運営委員が3名、運営委員を含む登録者が9名です。社史、年誌など比較的大きな企画をイメージしていますが、今年度は小規模な、オウンドメディアのコンテンツ制作を受注し、納品しました。登録者は随時募集しています。

5 トラブル対策

トラブル対策チームは関東・関西支部が合同で活動しています。その中で、関西が中心となって扱った案件を記します。

Xさん(ライター) 未払い・交渉拒否案件

Web制作3件の制作途中に、発注者が未払いを残したまま、連絡が取れなくなり交渉を拒否してきた案件。ネットからの数回にわたる交渉申し入れも拒否してきたので、2021年12月、簡易裁判所に提訴。現在、裁判所からの和解案を双方受諾。2022年7月の第5回口頭弁論の場で和解金の振り込みを確認した上で、和解調書に調印することになっています。悪質な交渉拒否も、泣き寝入りせず、トラブル対策チームの応援のもと弁護士に依頼せずご自身で簡易裁判を活用し、勝利的和解にこぎつけ、和解金支払いも裁判所管理のもとで行わせることができたことは、今後に生かします。

Yさん(ライター) 紙の著作物を無断で電子出版された案件。相談にのりながら、現段階では本人対応を側面援助。

6 美々卯スラップ訴訟の裁判支援

ネッツ組合員の北健一さんが書いた記事で美々卯側から訴えられた美々卯スラップ訴訟の裁判は、美々卯本社が大阪にあることから大阪地方裁判所で裁判が行われました。この裁判支援はネッツ全体の取り組みですが、当該裁判所のあるネッツ関西支部としても、出版労連大阪地協、出版労連京都地協、関西 MIC、出版労連本部などとともに積極的に支援に取り組み、口頭弁論には毎回支部組合員が傍聴や集会に参加しました。この訴訟は 2022 年 3 月末に和解解決となり、4 月 13 日に大阪で、5 月 20 日に東京で解決報告集会が行われました。

7 フリーランス支援

2022 年度は、2021 年度の大阪府・大阪市に続き、兵庫県尼崎市に新型コロナウイルス感染拡大で困窮するフリーランスを経済的に支援するよう要望書を提出しました。大阪府・大阪市には要望は受け入れられませんでした。尼崎市には次のとおり受け入れられました。

○尼崎市の提出先／経済環境局経済部地域産業課（2021 年 7 月 21 日提出、9 月 3 日回答）

○要望が受け入れられて実施された事業／事業継続一時支援金（実施期間：2021 年 10 月 11 日～12 月 10 日）

2021 年 11 月 5 日には、事業継続一時支援金を実施されるに至った経緯を、尼崎市の経済環境局経済部に聞き取り調査に出向きました。そこで判明したことは、①一般的にフリーランスの声は行政に届きにくいこと。②尼崎市では、前年度にフリーランスの困窮度合いが可視化されることがあり、さらに国からの交付金がおりの良いタイミングで出版ネッツからの要望があったことも重なり、実施に至った。③こうした要望書や独自のアンケート結果は、政策立案と予算確保にあたり、財政部局や議会に対する説明資料としてたいへん役に立つとのこと、などです。

8 ハラスメント対策

2022 年度は「フリーランスが快適に働くためにハラスメントを学ぼう！」というキャッチフレーズで、外部講師を招き、「ハラスメント学習会@関西」をオンラインで 2 回開催しました。

○第 1 回 2021 年 7 月 24 日（土）参加者 19 名（担当含む）

○第 2 回 2022 年 3 月 5 日（土）参加者 14 名（担当含む）

学習会のねらいは、ハラスメントを予防するために普段どのようなコミュニケーションを心がけるか、ハラスメントが起こったときにどのように対処すればいいかに重きを置きました。何がハラスメントにあたるかという線引きは重要ではないと考えたからです。むしろ、線の外にあれば許されるとの間違った意識が芽生える恐れがあると考えました。

学習会は 2 回とも前半の 1 時間が座学、後半の 1 時間半は事例に基づく参加者同士のディスカッション。とくに後半のディスカッションが充実したものとなり、学習会のねらいは達成できたものと評価できます。また、東西の組合員の交流が図れた意義も大きかったと考えます。

9 ウェブ関係

A 公式ウェブサイト

関西支部公式サイトは 2 年前にリニューアルがあり、その後は日常の維持更新によってほぼ安定的に運営してきました。機能面での追加・変更は、

1) ウェブへのアクセス状況を把握するためにアクセス解析プラグインを昨年9月から導入しました。これまでのところ、最大で1日40名ほどのアクセスが確認できます。どの記事がどの程度の頻度で読まれているかなど、アクセス状況の情報をチェックしていますが、昨年度はネットの春闘宣言やインボイスの取り組みなどでフリーランスへの注目が高まった割には、ウェブサイトへのアクセスに顕著な変化は見えていません。

2) ネット公式サイト(全体)のフリーランサーズガイド・ウェブ版(以下フリガイ)がリニューアルされたため、これまでの関西支部独自の「メンバー一覧」を発展的解消し、フリガイに一本化しました。そのためフリガイへのリンクを関西支部サイトに設置しました。

3) 遠隔会議の需要が高まっているため、2022年1月に関西支部独自でZoomを登録し、支部行事に自由に使えるようにしました。

また今年1月28日にはZoom初心者に対するガイダンスとして「Zoomの使い方初歩セミナー」をZoomで開催しました。Zoomの利用申込みのフォームも、関西支部サイトに設置しました。

B コラボ企画「TSUNAGU」

組合員同士で協力した仕事を、リレー形式で紹介しています。Twitter、Facebookでも閲覧を呼びかけています。

C メーリングリスト

現在関西支部が設置しているメーリングリストは、支部委員会が発信するメールマガジンの機能を持つ「AllWestML」と、自由な交流を目的とした「おしゃべり広場」の2つです。まだまだ活発に利用されているとは言い難い状況で、現在も改善を模索中です。

10 地協活動

ネット関西支部は出版労連大阪地域協議会(大阪地協)と出版労連京都地域協議会(京都地協)それぞれに組合員が地協委員として参加しています。

①出版労連大阪地域協議会(大阪地協)

出版労連大阪地協には、ネット関西支部の3名の組合員が地協委員として参加しています。今期の大阪地協は前期に引き続き出版ネット組合員の北健一さんが被告の美々卯スラップ訴訟の裁判支援に、出版ネット関西支部、出版労連京都地協、関西MIC、出版労連本部などとともに取り組み、裁判は和解による解決に至りました。

原則、隔週の月曜日に開催している大阪地協委員会は、啓林館組合事務所とZoomによるオンラインにて行いました。2022年5月1日の大阪メーデーは人数制限がありましたが、久しぶりに扇町公園での開催(YouTubeによるオンライン配信あり)となりました。また、新しい試みとして生計費をテーマにした春闘学習決起集会を、全印総連大阪地連との共催で3月4日にオンラインで開催しました。

②出版労連京都地域協議会(京都地協)

個人加盟の出版ユニオン京都支部のメンバーとともに8人で地協委員会を形成し、月1回、ラポール京都組合事務所でも対面式を基本に、Zoomを援用するかたちで会議をもっています。

例年春闘時期に、最賃引上の課題を中心に出版関連社に要請文を送っています。今年は「フリーランスの春闘宣言」を同封するとともに、アンケートも行いました。forumの5月号に紹介したとおりです。

2022年2月26日には、全印総連京都地連と合同で春闘討論集会を開催し、出版からは、「フリー

ランスの春闘宣言」と出版ネットの活動、北さん裁判について報告をしました。4月には労基署から京都総評を通じて労働相談の依頼があり、ネットのトラブル対策委員会につないで1名加入の結果を得ました。

一昨年度に開催した、ネット関西支部と京都・大阪地協共催の「出版研究集会 2020 in 関西」の成果をうけついで集会を行うことを目指しましたが、連綿と続くコロナ禍のため実現できませんでした。引き続きの課題としたいと思います。

11 新年名刺交換パーティー、レクリエーション、花見、フェスタ

今年度は新年名刺交換パーティー、レクリエーション、花見は、コロナ禍の中での開催を断念しました。新年名刺交換パーティーは①組合員同士の交流の場、②クライアントと出会う場、③ネット未加入のフリーランスの人をネットに勧誘する機会という3つの大きな目的がありますが、オンラインでは①はともかく②③の目的を達成するのはむずかしいと判断しました。レクリエーション、花見もコロナ禍の中での開催は困難ということで今年度は中止としました。

フェスタはネット組合員の仕事紹介を中心に、講演会や学習会、交流パーティーを開催しています。これはネット全体の行事ですが、これまでの経緯から、主に関西支部が運営を担っています。ほぼ2年に1度開催してきましたが、コロナ禍もあり、ここ数年延期しています。来期にはぜひ開催したいと検討中です。

12 会計活動

関西支部の会計は、長く担当者任せで総会の当日の締め、会計監査なしの経緯でした。2021年度の総会から監査を置きましたが、5月末に締めて支部委員会で確認し、監査の承認を得るかたちをつくられませんでした。昨年総会では、直前に依頼したため、会計監査から数字の不整合を指摘されたのに対応ができず、決算は、不正はないとの確認のもと、支部委員会預かりとなりました。その後、問題を解決して会計監査の承認を得、支部委員会から2021年12月13日付の全支部組合員宛メールで「会計監査報告書」を添付し報告いたしました。

2021年の9月には会計活動改善のための担当者の会を持ちました。決算・予算案は、本来方針案とセットのもので、いっしょに送付すべきものです。会計ソフト操作担当者の力も得て、なんとかそのかたちにこぎ着けました。なお、支払は100%ゆうちょ口座への振込になっています。

一方、昨年秋、通常の公的通帳以外に、古くから会計担当者に引き継がれていた別帳簿のあることが判明しました。残高288,481円です。

これは関西支部草創期、予算が不十分ななか、協同受注等と渾然一体化して始まり、技術講座や花見などのイベントの剰余も含めてつくられたもので、口座振込が一般化されてなく、会計担当者に立替が多くあった事情も加味されたものと推測されます。ここ10年近くは入出金はありません。

精査するのは不可能であり、これを通常の一般会計のなかに繰り入れることにします。

協同受注は、組織的に行う方針が定められ、すでに1件実現しています。この会計は、通常の組合活動のものとは性格が異なるので、別会計として協同受注担当者の管理とするのがよいと考えます。宣伝等の先行投資も必要なので、40万円を別会計に支出します。

13 大西昇子さん追悼

関西支部の組合員で支部委員も務め、支部総会、フェスタや新年会などにいつも積極的に参加され

た大西昇子さんが2022年2月12日に逝去されました。関西支部ではオンラインで偲ぶ会を開催し、「forum」2022年4月号の関西面で小特集を行いました。また、寄付を募って有志により大西さんの作品を使ったしおりや小冊子の制作を進めています。

【2023年度 活動方針案】

出版ネット関西支部の組合員は微増したものの、支部委員や各活動の運営委員が固定化しつつあり、それら委員の高齢化と相まって、活動がにぶっていくことが懸念されます。今後、組合員、特に若い組合員を増やし、支部の活動を活発にすることが喫緊の課題です。

出版とWebの世界がボーダーレスとなった昨今、Webの仕事を中心とするフリーランサーにも積極的に声をかけ、いったんネットを脱退した方に復帰を促すことも含めて、メンバーを増やす工夫をしていきます。SNSの活用に積極的に取り組んでいくために、SNSに精通した組合員の協力を促す企画などを進めていきます。

仕事や収入の減少に対して、ネット全体として、また関西支部として、国や自治体に対してフリーランスへの支援要請を行うなどしていますが、今後もこのような活動を継続していきます。

1 支部委員会

新型コロナウイルス感染症の流行状況にもよりますが、しばらくはリアル+オンラインのハイブリッド型で開催していきたいと考えています。

2023年度も、サポートメンバーのみなさんの協力も得ながら支部の運営を担い、より充実した活動ができるよう取り組んでいきます。なお、支部委員会は一般の組合員の方も、採決には加われないものの参加は自由です。ネットに対する意見や要望などがある方はぜひご参加ください。

2 ネット関西X（エックス）カフェ

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を見ながら、活動を活発にしていきます。

インデザイン勉強会は会員の希望を（アンケート）調査し、要望の強いテーマの勉強会を、まずオンラインで開きます。また、世話人の責任者を若返らせませす。

ことば+αはぜひとも例会を復活させたいと考えています。

編集者カフェは、編集に関する技術向上や情報交換の場となるような活動を計画中です。

既存のカフェ以外にも新たなカフェの提案を歓迎します。

3 仕事おこし・〈コラボネット〉

今年度は〈コラボネット〉の活動を強化し、組合員の仕事おこしにつないでいきます。

4 フェスタ

組合員の意見を踏まえながら、今年度開催の方向で検討していきます。

5 出版共済

支部の中に共済担当を置き、支部役員全員で組合員の近況把握に努めます。万が一の際には給付を受けられるように、広報と連絡に努めます。

6 トラブル対策

出版労連と連携し、関東支部のトラブル対策チームとも情報交換しながら、相談活動に取り組みます。また事例学習会を随時開催し、トラブル対策の総論や視点を学んだり、トラブルを未然に防ぐための商談ノウハウの学習会などを開催し、共有していきます。

Xさんの案件が和解完了したら（2022年7月の見込み）、その報告会を開きます。これは、すべての支部員に励ましと教訓をあたえてくれるので、広く参加をよびかけます。

7 ハラスメント対策

まだ具体的な計画はありませんが、2022年度の2回の学習会が有意義であったため、引き続き学習会の回を重ねたいと考えています。

8 関西支部ウェブ関係

アクセス解析などを通して、広報機能としてのウェブの効率的な利用を検討し、ネットの窓口としての公式サイトの役割を改善していきます。

コラボ企画「TSUNAGU」は、新たに別リレーを立ち上げて進めていきます。

メーリングリスト「おしゃべり広場」については、組合員間の交流がより活発化するように、引き続き利用環境の改善を検討していきます。

いずれにしてもウェブの有効活用のためには、コンピューター、インターネットに強い人に関わっていただく必要があり、新人の積極的な参加を期待します。

【2022年度決算報告と2023年度予算案】【読み上げ：新村】

決算案、予算案は別紙に示します。

——関西支部役員を募集します——

来期の出版ネッツ関西支部役員を募集します。関西支部の組合員はだれでも立候補することができ、支部総会で信任を受けて就任します。ぜひ、あなたも一緒に、出版ネッツ関西支部の活動を盛り上げていきませんか。

■支部役員とは

支部長、事務局長、および支部委員で構成されます。

任期は2021年7月の支部総会から翌年の支部総会までの1年間。

原則として月に1度開催される支部委員会に出席し、関西支部の活動を計画・実行します。

支部役員は、講座、レクリエーション、パーティー、トラブル相談、名簿管理、会計、Webなどの中から、いずれかを担当し、その活動を中心になって進めていきます。個々の役割は、複数の支部役員で担当し、支部委員会で協力して進めていきますので、どなたにでもできる活動です。

支部役員に立候補される方は関西支部総会出欠連絡フォームの該当欄にチェックしてください。

■交通費は全額支給

支部委員会に出席するための交通費は全額支給されます。また、支部役員手当として、委員会出席1回あたり500円をお支払いしています。

■支部委員にはこんなメリットが

あなたの興味・関心をいかせるのが支部委員。あの人の話が聞きたい、仕事上の疑問を解決したい、体を動かしたい……など、出版ネッツの方針に沿うことならなんでも提案できます。関東支部の出版ネッツ組合員や、出版ネッツが加盟している日本出版労働組合連合会（出版労連）の版元の人たちと仲良くなれます。ネッツにはいろんな才能・特技をもつ人がいますし、版元のみなさんとの接点も大いにあります。お互いの人となりが見えることは新しい企画や仕事にもつながるはず。営業の機会ともなります。

——サポートメンバーを募集します——

「支部委員会に出席するのは難しいけれど、何かできることがあればお手伝いします」

最近、そんなうれしいお声をよくいただきます。そこで！ そんなあなたにお願いしたいのが「サポートメンバー」。支部役員と連携しながら活動に参加していただきます。

〈お願いしたいのは、たとえばこんな活動です〉

- レクリエーション（企画と当日の運営）
- 名簿管理（新年会・セミナーなどで集まった名刺をもとに、クライアント名簿を更新）
- DTP（パーティーの案内チラシなどの制作）
- Web（関西公式サイト）の運営

サポートメンバーとしてお手伝いいただける方は関西支部総会出欠連絡フォームの該当欄にチェックしてください。